

2026 年度佐賀大学大学院地域デザイン研究科（2次）試験問題 専門科目

【出題意図】

各問は、都市経済学を学ぶ上で、最低限必要となる理論（考え方）、作図、計算に対する理解を問うものである。

第1問（配点 30 点）

本問は、都市経済学における借地借家のあり方に関して、関係の法律（借地借家法）とどのような関係にあるのか、そして、この法律があることで市場メカニズムがどのような影響を受けているのかを余剰分析の図解によって説明できるかどうかを問うものである。言い換えると、この法律があることで、完全競争市場が歪められており、どのような社会的な損失が生じているかを問うものである。

第2問（配点 30 点）

都市経済学における 2 地点間での工場立地の最適点を問うものである。工場の立地にかかる規模の経済、2 地点間の輸送費を明示した上で、分散立地、集約立地になるパターンを簡単な利潤関数に基づき問うものである。

第3問（配点 40 点）

本問は、公営住宅など公共財の供給において、最適供給条件を問うものである。限界便益と限界費用の等しくなる点を一階条件のもと計算できるかを問うものでもある。